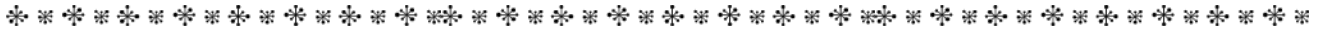




大山崎の野鳥 (アオサギ)

発行日 平成 29 年 9 月 10 日
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
 発行責任者 梶尾 勉
 連絡先 大山崎町歴史資料館内
 TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289
 URL <http://www.kyoto-ofg.org/>

第 1 4 4 号



地元の人にこそ大山崎の良さを

大山崎中学校《ふるさと学習》の取組

第一学年主任 玉木 健治

生徒さんの「ふるさと新聞」です

先生「みんな、秀吉と光秀が大山崎で天下分け目の戦いがあったの知ってる？」

生徒「知ってる！」

先生「じゃあ、どうしてここで戦いがあったか知ってる？」

生徒「・・・」

そこで大山崎で天下分け目の戦いがあったのは偶然ではなかったことだけを告げます。でも、あえて答えはすぐに告げずに生徒に考えさせます。

黒板に現在の大山崎の地理を示し、淀川と天王山の間に、国道、新幹線、阪急、JR が所狭しと通っていることを確認します。そしてその地形をもとに、秀吉が天王山を先に抑え、光秀を迎え撃ったという話をすると生徒は頷きます。

そこには単なる知識では得られない、生徒が興味を持って考える姿が見られます。

本校の総合の時間は、1年生で地元の大山崎に目を向け調べ学習に取り組みます。一人ひとりテーマを持って調べ学習に取り組み1枚の新聞にまとめ、その情報を学級や学年の前で発表していくことをねらいに取り組みました。

6月7日(水)「大山崎町クイズ」

大山崎町の町の木は松、町の花は桜。では町の鳥は？

6月9日(金)「大山崎ふるさとガイドの会の講話」

ガイドの会から9名の講師の方が来校いただき、



「閻魔さまと極楽・地獄」「行基さんと山崎橋」といった内容の講話でガイドの方が「地元の人にこそ大山崎の良さをしってほしいです！」と話された言葉が印象的でした。

6月14日(水) 調べ学習の個人のテーマ設定

6月21日(水)「地域調べ」(2時間)

学年が6つのグループに分かれ、ふるさとガイドさんの案内で現地調査

6月23日(金)～7月7日(金)「ふるさと新聞」作り(3時間)

7月11日(火)「各学級で発表」

一人ひとりの発表を評価 学級代表4人を選出

7月18日(火)「学級代表者の発表」

普段何気なく見聞きしてる地元大山崎のことでも、自分でテーマを設定し、自分の目や足を使って調べたのは大きな成果でした。何より、テーマ設定や調べ学習で、ガイドの会の皆様に多大な協力をいただいたことは大きな支えでした。さらに来年度以降も、この取組を続けていきたいと考えています。

7月11日～9月9日までの活動実績

1. 主なガイド

- ・7月13日(木) 大阪府北部コミュニティカレッジ 35名
- ・7月16日(日) 歴史をめぐる会 37名
- ・7月19日(水) SKY古代史同好会 22名
- ・7月27日(木)～28日(金) 夏休み子ども歴史教室 支援
- ・8月8日(火) 鏡田おしゃべり会出前ガイド 16名

2. 会員学習会

- ・7月19日(水) (3班担当) 江戸時代の大山崎 40名
- ・8月23日(水) (4班担当) 水陸交通のかなめ 44名

3. 他団体交流

- ・7月21日(金) 南丹市歴史探勝会
- ・7月28日(金) 観光ボランティアガイド団体総会

活動予定

☆ 主なガイド、行事予定

- ・9月14日(木) 芦屋川カレッジ歴史探訪同好会 1班
- ・9月16日(土)～17日(日) SKYふれあいフェスティバル 出展
- ・9月29日(金) レイカディア大学 3班
- ・10月2日(月) 長岡京市ガイドの会交流会 全班
- ・10月21日(土) 秋の天王山ウォーキング 全班
- ☆ 出前ガイド
- ・10月28日(土) 長岡京市立ふれあい町家 1班
- ☆ 会員学習会
- ・9月20日(水) 1班担当
- ・10月25日(水) 2班担当
- ☆ 大山崎町歴史資料館 第25回企画展
10月21日(土)～11月26日(日)
「千利休とその周辺」

7～8月ガイド実績

| | 一般ガイド | | 歴史資料館 | | 宝積寺・定点 | | 山崎駅・なび | | 合計 | |
|----------|-------|-------|-------|-------|--------|------|--------|------|------|-------|
| 7～8月 | 10件 | 205人 | 168件 | 456人 | | | | | 178件 | 661人 |
| 平成29年度累計 | 49件 | 1831人 | 525件 | 1566人 | 66件 | 251人 | 204件 | 510人 | 844件 | 4158人 |

お茶にあう和菓子をつくろう



今年も7/27(木)、28(金)の2日間「夏休み子ども歴史教室」が開催されました。

1日目は、テキストとお菓子作りの注意事項を説明されました。昔の人々が食べていた和菓子について学びました。

今も販売されている、小麦粉と味噌で作られ、上にケシの実をかけた、今から440年前に空腹を満たすための食べ物です。名前を「松風」と言います。そして、お干菓子(水分の少ない乾いたお菓子)も、お抹茶と一緒に和室で子ども達は頂きました。

その前に“待庵”のレプリカを見学し、乙訓菓子研究会の菓子職人さんの、巧みな手さばきに、子ども達は、興味を持って見ていました。初めて見た子ども達も少なくなかったと思います。

2日目は、6班に分かれてお菓子作りです。手洗いと、消毒について、しっかりと説明をされました。洗っても菌が残っているかを調べる検査機があり、もう一度洗い直しの子もいました。

和菓子職人さんの指導を受けながら、保護者の方もお手伝いされて、片手に手袋をはめて、もち粉をそれぞれに作り上げて、飾りをつけて三種類の夏の和菓子を作り上げました。

“あじさい” “すだれ巻き” “朝顔”です。

「ともあそび」の方のお手伝いによって、でき上がった和菓子と共に抹茶を楽しみました。

その後、感想文を書いて、資料館館長、菓子職人さんの挨拶で歴史教室は終わりました。

子ども達には、和の文化に興味を持って欲しいと思いました。

(4班 山本 八重子 記)



天王山山頂

憩いの丸太腰掛設置



設置後の風情と OFGメンバー

観音寺の梵鐘が日に3回、快く耳に響く今の住まいに転居した頃“天王山を守る会”より寄稿を依頼され、“天王山に想う”と題して日頃の天王山への思いと希望を記しました。

実はその中に天王山々頂の“腰掛の設置”があったのです。私の別の活動“大山崎竹林ボランティア”で“竹林のこみち”の安全策や登山口の竹の杖を提供する状況にあり、この丸太腰掛を持ち出したところ、快く作るよ！との賛同を得て4基出来ました。

役場のご支援を受け、地権者様より設置のご承諾を得るに至りました。中腹まで竹林ボランティアの軽トラで運び、6月 OFG の有志で頂上まで人力で担ぎ上げ設置完了となったものです。見事なコラボで今後、良い休憩の場となることを願っています。

後日、京都新聞社よりインタビューを受けこれらの状況が同紙(7月9日朝刊)に紹介されました。

(3班 藤原 琴二 記)

あちこち学習山歩

生駒山再訪



生駒聖天(宝山寺)

6月26日(月)参加者10名。今回は生駒山の聖天さんに参拝し、その信仰(8神社)を辿ってみた。近鉄石切駅を出発し興法寺へ、立派な銅の灯籠が在って聖天さんを祀るが寂しい寺だ。

頂上手前で昼食と学習山歩の会話を楽しく済ませ、生駒遊園地に至る。

頂上三角点標柱は園内、遊戯場の中にあり、記念写真を撮る。次いでメインの生駒聖天(宝山寺)へ、この地に寺院を建立したのは背後の巨大な岩壁(高さ100m余)に畏怖したからではないだろうか。聖天さん(歓喜天)は仏教の守護神であり、事業の成功を祈る護法神でもある。商売繁盛を願う京大阪の商人たちの篤い信仰(参千萬圓、壹億圓、等桁外れの寄付金額)を実感できる。広い境内を暫し参拝し、終点の近鉄生駒駅に無事到着した。今後、山崎聖天のガイドに深みを添え得る山歩だった。(2班 澤田 僚一 記)

出前ガイド in “鏡田おしゃべり会” !!



のろのろ台風5号が通り抜けた8月8日(火)、鏡田集会場で「鏡田おしゃべり会」の例会が開催され、3班担当で「山崎合戦」「史跡案内」など四篇を上演しました。

台風の余韻が残る中で、心配された参加者数も狭い会場が一杯になる16名の方の参加がありました。

「鏡田おしゃべり会」での出前ガイドは、今回で全演目を上演したことになりますが、最後の茶話会で「新作を楽しみにしています」とのお言葉をいただき台風一過の爽やかで楽しい一時となりました。

(3班 加藤 文則 記)

会員学習会



7月19日(水)歴史資料館館長 福島氏による、江戸時代の大山崎についての学習会を開催。

この学習会は、昨年より各班持ち回りで、それぞれに学習内容を設定し行っております。

江戸時代、後半には他家より町人の力が強くなってきた大山崎を学びました。

8月23日(水)には、4班担当で「水陸交通のかなめー大山崎いろいろ」を課題に熱演をいただきました。

実地検証をされた「久我囃・鳥羽離宮」には、班全員の熱意が感じられました。

他のテーマについてもパワーポイントを使い分かり易い解説でした。

